

栗山町農泊推進対策協議会 (農泊)

空知総合振興局

【協議会の特徴・理念】

緩やかな丘陵地帯で豊かな自然環境を活かした体験アクティビティを約50種類提供し、道内最古の木造二階建校舎である雨煙別小学校を活用した宿泊施設を整備。平成13年から離農跡地24haをハサンベツ里山地区へと再生し、体験田畑の整備、自然河川の復元、周辺町有林の保全、自然体験活動の受入を実施（平成23年度農林水産大臣賞受賞）する他、少人数の体験者や外国人の団体などを受け入れるなど、滞在型農村ツーリズムの体制整備を行っている。

【地域の概要】

①自然環境

石狩平野の南東部に位置し、西部は平地、東部は夕張山地に由来。

隣接市町村と接続する道道が縦横に整備されており、農業を基幹産業に優位な立地条件も加わって商工業も盛んになっている。

②人口

栗山町：11,470人
(2021年1月時点)



③主な産業

●農業

平野部と山間部の中間、道内北方圏と南方圏の気候が交わる場所に位置し恵まれた環境で農産物が生産されている。



④イベント等

- ・くりやま老舗まつり
- ・栗山秋まつり
(栗山天満宮例大祭)



【協議会の概要】

①設立年

H29年設立

②構成員・代表者（又は団体）

栗山町農泊推進対策協議会

- ・特定非営利活動法人 雨煙別学校
- ・栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会
- ・合資会社商大グリーンツーリズム
- ・栗山町ハサンベツ里山計画実行委員会
- ・栗山町
- ・栗山町教育委員会

③協議会設立の経緯（きっかけ）

栗山の特徴である、農業と自然体験を合わせた新しい取り組みができないかと協議会を設立

④協議会の活動内容

- ・自然体験プログラムの運営
- ・廃校活用による宿泊施設運営、食事提供
- ・問い合わせ窓口

⑤現在の課題

新型コロナウイルスの影響による宿泊者の減

【主なコンテンツの種類及び実績】

①宿泊プランの例雪を遊びつくそう)

| | | | | | | |
|-------------|------------------|----------------------|----------------------|----|------------|----|
| 1 日 目 | 雨煙別 小学校 到着 | かまくら・ イグルー づくり | キャンド ルクラフ トづくり | 夕食 | ナイト ハイク | 宿泊 |
| 2 日 目 | 朝食 | スノーシュー 体験 | 帰路 | | | |

②受入実績（人）

| | H29 | H30 | R元 |
|------------|-------|-------|-------|
| 教育旅行 | 363 | 480 | 309 |
| 一般（国内） | 2,799 | 3,065 | 3,449 |
| 一般（インバウンド） | 44 | 0 | 84 |

③利用状況

【利用者の形態】

- ・町外を中心に宿泊学習の学校受入が多い。
- ・一般のスポーツ団体等の合宿使用が増加

【利用者の声】

スタッフの方々がとても明るくて親切で一緒に楽しんでくれて素晴らしいな～と思いました。

【特徴的な取組】

< 廃校校舎の利用 >

- 平成10年に廃校となっていた雨煙別小学校(昭和11年建設)を平成20年に一般社団法人コカ・コーラ環境教育財団から1億8千万円の支援を受け、宿泊型体験施設へと改修。
改修には、延べ1,500人もボランティアが再生工事に参加し、地域ぐるみで廃校を残そうと活動した。

< 多様な自然体験プログラム >

- 「夕張川で遊ぶ」
 - ・川流れ体験、夕張川の生きものしらべ 他
- 「里山の暮らしを学び楽しむ・里山の田畑で感じる」
 - ・落ち葉で焼き芋、野菜栽培、収穫体験 他
- 「生き物の生態を知る」
 - ・オオムラサキしらべ、紅葉の森・冬の森観察会 他
- 「夜の森にゆく」
 - ・ホタル観察会、夜の昆虫観察会 他
- 「冬を楽しむ」
 - ・かまくら・イグルーづくり、スノーシュー探検 他



【連絡先】

代表窓口：栗山町農泊推進対策協議会
(事務局 佐藤 裕介)

TEL： 0123-72-1117

E-mail： y-satou@town.kuriyama.hokkaido.jp)